



この美しい自然を守ることが、**人類を救う！！**

目次・概要

- 伊藤鉄工株式会社様 「環境 人づくり企業大賞 2015」優秀賞を受賞

企業の社会的責任として持続可能な社会を実現するための人材育成が求められています。「環境 人づくり企業大賞 2015」(正式名:環境人材育成に関する先進企業等表彰)は、こうした企業における「環境人材」育成を一層促進することを目的に、平成 26 年度に創設され、今回が第2回目で、岐阜県大垣市の伊藤鉄工株式会社様が、優秀賞を受賞されました。

- 「抜けるほど碧い空、果てしなく“なだらかな丘陵がつづく”

邦をたずねて」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

(環境カウンセラー)

私は、今年 6 月中旬からポーランドと、バルト三国を 10 日間ほど掛けて訪れた。

.....

この 4 カ国は何れも「バルト海」に面しており、風の流れは速く天気予報は殆ど当たらず、晴れ・曇り・雨・強い風を、日に何回も繰り返しているが、晴れた時の空は実に綺麗である。

環境カウンセラーとして、延々と続く緑の丘陵地と畑、そして写真-4 の様な青空を観て居ると、これらの国は未だ汚染の無い状況の様に思えた。

.....

- 新規入会会員の紹介

平成 28 年 4 月から、新規にご入会いただいたお二人を紹介します。



伊藤鉄工株式会社様

「環境 人づくり企業大賞 2015」優秀賞を受賞

企業の社会的責任として持続可能な社会を実現するための人材育成が求められています。「環境 人づくり企業大賞 2015」(正式名:環境人材育成に関する先進企業等表彰)は、こうした企業における「環境人材」育成を一層促進することを目的に、平成 26 年度に創設され、今回が第2回目で、岐阜県大垣市の伊藤鉄工株式会社様が、優秀賞を受賞されました。

エコアクション 21 に長く取り組んでいると、マンネリ化の傾向を見受けることがあります。伊藤鉄工株式会社様は、エコアクション 21 を 2010 年 1 月に認証・登録し、今年で 8 年目となり、その間、様々な工夫を凝らした取り組みを展開してまいりました。「江戸しぐさ」の採り入れは、その一つで、マンネリ化を避けるための取組としても、大変参考になる事例として紹介をします。

審査委員の講評

エコ会議の中で数カ月に 1 回「江戸しぐさ」という人への心遣いを取組テーマとして設定し、実践した内容を全員で発表している。全社員により日々の業務、コミュニケーションの中で取り組まれており、環境教育を超えた CSR 教育、さらにモラルアップ教育となっている。個々の実践状況を発表することにより、PDCA に基づきながら個人の成長を促している点も素晴らしい。会議の議事録からも、活動が積極的に行われており、成果が出ていることがうかがわれる。また、取組の改善も積極的に行われており、今後、同社独自の「伊藤鉄工しぐさ」を作成する計画もある。中小企業においても、工夫により全社員の CSR 教育が可能であることを示しており、人としての成長も目指した好例となっている。

「伊藤鉄工しぐさ」の作成により、さらに独自性を高めたオンリーワンの活動となることを期待したい。

伊藤鉄工株式会社様から頂いた受賞のお慶びと受賞のスナップ写真などを紹介します。

◆ 伊藤鉄工株式会社 代表取締役 伊藤誠様 寄稿文

この度は、環境人づくり企業大賞 2015(取り組みタイトル「環境人間の育成を江戸しぐさから学びオンリーワン企業を目指す」)で優秀賞という大変名誉な賞を頂き、光栄に思っています。この賞の応募内容はエコアクション 21 の認証を頂いた以降の当社の日常の取り組みが評価されと思います。これは、エコアクション 21 地域事務局ぎふ及び審査人の方々が親身になって当社をご指導いただいた賜物だと思っています。この場をお借りして心からお礼申し上げます。

環境対策においては我々自身のモラルが一番大切だと思います。その意味でも環境人づくりは心からだと思います。確かに正しい知識を持ってエコ活動すれば一個人、一企業としては地球環境負荷や CO₂ 削減効果は大きいかもしれませんが、しかし、国民全体が環境意識を持っていただくには、環境人材の育成しかないと思います。今後は今回頂きました賞に恥じることなく、社員一同この取組みを継続して環境人材の育成に努めたいと思っています。

- ◆ 伊藤鉄工株式会社 副環境管理責任者 山田韶月様 寄稿文
この度環境人づくり企業大賞 2015 で優秀賞という身に余る賞を頂き、大変うれしく思っています。表彰式が平成 28 年 5 月 30 日に東京霞が関の環境省会議室で行われ丸川珠代環境大臣や安井至環境人材育成コンソーシアム代表幹事の挨拶がありました。

＜環境大臣挨拶要旨＞

地球温暖化対策計画は 2030 年までに 2013 年比で温室ガス排出量を 26%削減し、また 2050 年には 80%削減する長期目標の案をまとめたこと。これを成し遂げるアクションとして、国民 1 人ひとりのライフスタイルを抜本的に変容するためには環境教育の役割が大切で、環境教育の担い手を企業に着目して積極的な社員教育に取り組んでいただくことが環境人づくり企業大賞の狙いです。

＜代表幹事挨拶要旨＞

産業革命以降人類は化石燃料を上手く使うことでしたが、これからは上手く使わないこと、更に化石燃料に触らないことを考えないといけなくなった。これは大変な事で、今後環境問題でやるべきネタは尽きることはない。是非あらゆる事を考えて取り組んで欲しい。

.....

このようなお話を伺い、当社の取組はまだまだ厳しさが足りないことを痛感しているところです。

当社の取組を簡単に紹介しますと、タイトルは「環境人間の育成を江戸しぐさから学びオンリーワン企業を目指す」です。ここに至った理由は、EA21 活動を 6、7 年ほど実践してきて更に活動を進化させることを考えた時、弊社の企業理念にある「社員の人的成長を図る」ことに立ち返ることが活動を進化させると考え、理念の伝達が容易な行動哲学で江戸庶民が作り上げた「江戸しぐさ」を採用入れることに思いつきました。

江戸しぐさの取組開始は、2012 年の 12 月からです。長いようですが、取組の形は「定着してきたかな？」と思っていますが、江戸しぐさの理念が身に付き、「心に響く」までにはまだまだ至っていません。更に継続する手法を模索し、環境人づくり企業大賞の「審査員の講評」にあります「伊藤鉄工しぐさ」ができることを目指したいと思っています。



丸川珠代環境大臣



安井至環境人材育成
コンソーシアム代表幹事



安井至代表幹事(左)から
表彰を受ける当社伊藤誠社長(右)



授賞式当社出席者(左から、山田韶月、
社長伊藤誠、新藤直美)

編集:当協議会 理事 鈴木敬彦(環境カウンセラー、EA21 審査人)

「抜けるほど碧い空、果てしなく“なだらかな丘陵がつづく” 邦をたずねて」

岐阜環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男
(環境カウンセラー)

50年ほど前に読んだ、ドイツの作家 ヘルマン・ヘッセの作品「車輪の下で」の中に、「手元のリンゴが、丘をこころと転がっていく、、、」という一節があった。

リンゴが転がる、、、なだらかな丘陵地、、、丘、、、とは、どの様な様相なのか？

西に伊吹山、北に白山・御嶽らの、切り立った山々に囲まれた濃尾平野の真ん中で育った私には、「なだらかな丘陵地、、、丘、、、」とは、即座に思い当たらず理解し難いフレーズであり、長い間、頭の隅に留まっていた。

時が過ぎ、業務でヨーロッパ各国に多く出かけたが、「なだらかな丘陵地がつながる情景」を目にすることは、そうそう簡単には出来なかった。

この「車輪の下で」は、著者ヘルマン・ヘッセの原体験を下に書かれているらしいが、彼の少年期は、ドイツ南西部に位置するアルザス地方、南はスイスに隣接している「シュトゥットガルト(ドイツ連邦共和国の都市で南西部の大都市で、緯度はサハリン程度にあり、夏でも気温は30度を超えることは少ない)」で過ごした様であり、当地特産のリンゴが、文中によく出ていた様に記憶している。

周囲の期待を一身に背負い神学校に合格した主人公のハンス、しかし、厳しい学校生活に馴染めず学業からも落ちこぼれる、、、地方出身の優等生が思春期の孤独と苦しみの果てに、破滅へと至る姿を描いた自伝的物語であり、1946年にノーベル文学賞を受賞したヘッセの代表作であるが、その「車輪」と云う言葉には色々な意味が込められており、「車輪の下=車輪=Rad=有意転換=人を押し潰す」らの連想から、車輪の下敷きになる=エリート路線から脱線したハンスは、車輪の下で喘ぐことになる、、、。

この主人公のハンスも、少年期をシュトゥットガルト市で過ごしており、誰にでもある思春期の孤独を描き、子供に対する大人の無理解を告発する書でもあった。

私は、今年6月中旬からポーランドと、バルト三国を10日間ほど掛けて訪れた。エストニア共和国の首都「タリン(旧市街は世界遺産『タリン歴史地区』)」の散策、右の写真は中世ハンザ都市の一つとして栄えた港湾都市で、遠くに湾が見えるが、その先85Kmほど先は、北欧のフィンランド国である。

続いて、ラトビア共和国の首都「リガ」から、リトアニア共和国の第2の都市で、ソビエト連邦併合以前のリトアニアの首都である「カウナス」を訪問した、リトアニアのほぼ中央に位置し、中心部は中世に栄えた歴史的な街を訪れてから、ポーランド国に到る1700Km程をバスで駆け抜けた。

幹線道路をバスで走り貫く時、車窓から、高低差が50Mにも為らない丘陵地が延々と続く情景を眺めつつ、「これが“車輪の下で”で云うなだらかな丘か、、、」と記憶が蘇ってきた。

スタートのエストニアからポーランドに到る、4ヶ国を結ぶ幹線道路の左右には、なだらかな丘陵地が果てしなく続くのである。



写真-1 エストニア：タリンの歴史地区 (世界遺産)



写真-2 4ヶ国を繋ぐ1700Kmの幹線の両側には、延々と丘陵地と畑・林がつづく。

走るバスの車窓からは、巧く撮れなかったが(写真-2)、下の様な穏やかな丘陵が途切れる事がなく延々と続く、そして平地には、小麦と野采らしき畑が果てしなく続くのである。

エストニアからポーランドを結ぶ主要幹線道路は、この畠の中を延々と続くのであり、我が国では北海道くらいしか、見ることが出来ない景観を楽しんでいたら、「このなだらかな丘陵を、寡ってドイツとそしてロシアの戦車が交互に走り、この国を蹂躪し、国民を虐殺し、有る時期はこの国を歴史の上から消し去ってしまったのです、」との、現地ガイドの説明に、我にかえる。

右の写真は、ポーランドの首都の真ん中に聳える、「ロシアの墓石」としてポーランド人が忌み嫌う、旧ロシア時代の建物(現在は博物館)そんなポーランド人の思いとはミスマッチの「抜けるほど碧い空」、これ程碧い空を私は我が国で見た事がないし、真っ白な雲が実に美しく、絵を嗜む人であれば、描いてみたいと衝動に駆られる空の色と雲だと思った。

ポーランドの首都ワルシャワを、日本の東京とすれば、日本の古都京都に当たるのが、ポーランドの古都「クラフク」の散策を行った。

右の写真はクラフク旧市街地区に在る「バベル城」からみた湖と空と雲。碧い空に恰も綿菓子がかんたように面白い様相を呈していたが、夏でも気温は 30 度を超えることは少なく、湿度が低いため空の色は抜けるように青い様だ。

この 4 カ国は何れも「バルト海」に面しており、風の流れは速く天気予報は殆ど当たらず、晴れ・曇り・雨・強い風を、日に何回も繰り返しているが、晴れた時の空は実に綺麗である。

環境カウンセラーとして、延々と続く緑の丘陵地と畑、そして写真-4 の様な青空を観て居ると、これらの国は未だ汚染の無い状況の様に思えた。

この旅のもう一つの目的は、エストニアでの「杉原千畝記念館」とポーランドでの「アウシュビッツ」の訪問であった。関連する書籍は多く読んだ積りだが、実際の地を訪れると改めて心に伝わる深い感銘を覚え、特にあの悪名高き「ホロコースト」である、「アウシュビッツ&ビルケナウ」を訪れた時は、余りの悲惨さに言葉を失った。

地球環境汚染も恐ろしいが、人の心の汚染も計り知れない恐ろしいものだと思底思った。

“車輪の下”で、思い出したこの美しい邦を、何れの“汚染”においても汚してはならないと、妙に神妙な気持ちを抱いての帰国となった。



写真-3 ワルシャワの中心地に在る「ロシアの墓石」



写真-4 ポーランド・クラフク市内のバベル城から見た、碧い空と雲、如何にも“のどか”である。

新規入会会員の紹介

平成 28 年 4 月から、新規にご入会いただいたお二人を紹介します。

● 吉田文武氏

環境カウンセラー: 事業者部門

入会の動機: エコアクション 21 部会への参加をでの審査人技量向上に関する勉強会への参加。

氏 名:吉田文武(ヨシダ フミタケ)
住 所:愛知県春日井市
出 身 地:兵庫県 丹波の篠山(黒豆の産地)
元 勤 務:大阪の工業薬品製造販売会社

担 当:技術営業

各企業の於ける水処理(生産工程の水、用水、排水)

臨海工業地帯の企業使用海水の生物処理(貝類、藻類)

漁業関係:養殖魚寄生虫処理、土木建設における土壌汚染浄化、

食品関係:パン、麺類等品質向上補助食品(小麦蛋白)



<退職後の経歴>

製紙会社に勤務:ベトナムにて約6年 製紙工場の建設と薬品販売会社現地法人設立事業
元、大阪環境カウンセラー協会所属(在職中)

愛知環境カウンセラー協会所属中

エコアクション21の審査を実施中。

● 多賀吉令氏

環境カウンセラー:市民部門

入会の動機:平成 27 年度環境カウンセラー(市民部門)に登録。

協議会での活動に興味があり又、自己能力を深めるため
にもこの都度入会させていただきました。

氏 名:多賀吉令(たがしよしのり)

住 所:岐阜県不破郡垂井町栗原 233 番地

出身地:岐阜県垂井町生れ

元勤務:三菱レイヨン、海津郡南濃町役場(現在海津市役所)

<退職後の経歴>

定年 1 年前に「環境社会検定(eco 検定)」に挑戦

環境省認定の「環境教育インストラクター」

岐阜県地球温暖化防止活動推進センターの推進員

日本経営士会会員

「エコステージ」の評価員

大手スーパーで電気、機械等の設備メンテナンスの仕事に従事。

平成 26 年 4 月から垂井町合原公民館長現在に至る。



<p>・NPO法人 岐阜環境カウンセラー協議会 住所:〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6 (財)岐阜県環境管理技術センター内3F 電話:058 - 272 - 0408 FAX:058 - 272 - 0408 E-mail:gifu-ec@nifty.com URL:http://www.gifu-ec.jp 窓口担当者 : 鈴木 敬彦 事務局長</p>	<p>・エコアクション 21 地域事務局ぎふ 住所:〒500-8357 岐阜市六条大溝 4 - 12 - 6 (財)環境管理技術センター内 3F 電話:058 - 272 - 0408 FAX:058 - 272 - 0408 E-mail:ea21gifu@nifty.com URL:http://www.gifu-ec.jp 窓口担当者: 小倉 竹治郎 事務局長 加藤 邦夫 事務局次長</p>
---	--